

市民まちづくり会議・むさしの 令和5年度 第5回定例会 会議録

日時：2024年4月18日（木）午後7時～9時00分

場所：武蔵野プレイス3階スペースD、リモート併用

出席：会場参加 青木、篠原、田中、南、村井、山田

リモート参加（無し）、以上6名（敬称略、50音順）

1. 独歩の森関係（田中）

①現在の森の状況

【資料：森の会だより35号、雑木林の由来・課題と境山野緑地の保全・再生—内部研修資料—】

ナラ枯れの被害以降、3団体（武蔵野の森を育てる会、プレイス西通りの会、当会）の連携活動や地域フォーラムを経て、2022年3月、全枯れした16本のコナラを中心に約700㎡を皆伐し、市民参加でドングリによる森の再生を行い、モニタリングを続けている。

再生事業地はドングリが1m程度まで成長し、明るい林床は草で被われ、周りの草が生えない林床との違いは歴然である。会の調査班とNPOバースによるモニタリングでは、雑木林に飛来する多くの昆虫や鳥が確認され、そのうち23種は東京都のレッドデータリスト（2010年）に挙げられている種である。今後アオゲラの営巣が予想される。

②地域フォーラムの企画

【資料：地域フォーラムの計画（案）】

6月1日（土）の午後1時から3時に西部コミュニティセンターで地域フォーラムを開催し、終了後独歩の森を案内する。テーマは「独歩の森の未来を考えよう—森の若返りの成果から—」。

- ・主催は西部コミュニティ協議会で終了後独歩の森を案内する予定。
- ・市（緑のまち推進課）の共催を得て森の将来像を発信したい。
- ・当会は共催にはならないが、必要に応じて次年度予算等で協力する。

2. 「武蔵野市における外環地上部街路話し合いの会」中間まとめについて（村井）

3月27日の第5回編集会議をもって令和5年度の編集作業は終わった。62回の作業部会を開いたが、未だ記録版の最終校正に至っていない。概要版は概ねの構成が示されているのみで、住民構成員は本編完成後に会議を開くことを要求している。

都は、主力で担当していた課長代理が異動したため、後任がどのように進めるかは不透明。現段階では令和6年度の予算はついていない。住民構成員は6月14日までに本編の校正案を事務局に提出する。その後、事務局がまとめ、必要に応じてリモート会議（個人のPC使用）を開くとしている。

住民構成員で第5回編集会議に出席したのは作業部会メンバー4名のみで、他の住民構成員にも校正を依頼しているが望み薄である。

作業部会メンバーは、本編を印刷までこぎつけることが重要であると考えている。メンバーがそれぞれ校正案を出すと時間がかかるので、住民主導の作業部会で校正案を一本化して都に提出することとした。この作業には村井が協力し、4月17日に第一回の作業を行った。

概要版については、都が考えている練馬区のような計画説明パンフではなく、あくまでも話し合いの会の内容を伝えるものとすべきと考えており、今後都の方針と折り合わないことが予想される。

3. まちづくりに関する意見交換

- ・吉祥寺の再投資について、南口広場、本宿コミセン建て替え、ハモニカ横町の防災などについての意見交換。
- ・旧浜野西洋館が市の土地開発公社の所有となったことを報告。

4. 暮らしフェスタ

- ・2024 暮らしフェスタは 9/26（木）～9/28(土)にプレイスで開催。村井が担当し展示資料を作成する。
- ・テーマはプラスチックのリサイクルに関連して、公共施設の自販機やまちの給水スポットなどの現状をまとめる。

5. 当会の今後について

- ・篠原理事長と山田理事が市外に転出したため、会のこれからについて検討する必要がある。
- ・新型コロナの影響もあるが、近年の活動状況から N P O 法人を任意団体に移行することも視野に入れて役員会で検討する。

第 6 回定例会： 2024 年 5 月 16 日（木） 19：00～、吉祥寺商工会館 3F 消費生活センター講座室

令和 5 年度の総会： 2024 年 6 月 16 日（日） 10：00～、吉祥寺商工会館 3F 消費生活センター講座室

以上／記録作成：村井)